



株式会社 タシケント

SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2023年 3月 20日
株式会社タシケント 代表取締役 久保 寛昭

人権・労働

<具体的な取組内容>

- 社員全員が、ビジネスチャットを用いて情報を共有し合える環境を整備し、離れた部門同士の打合せや遠隔地とのコミュニケーションが円滑に進むことによって、ワークライフバランスにも配慮した働き方を実施していく
- ロープレコンテストにキャリアや役職に関わらず積極的に参加することで、社員全員の営業・接客力強化を図り、人材育成に努める

<関連のあるゴール>



製品・サービス

<具体的な取組内容>

- 不要衣類をお客様や地域の方から集め、必要とする方へ販売・手交することで廃棄物削減に寄与した事業を行う
- 商品企画に社員の声を反映させ、環境に配慮し、社会問題の解決につながる取組みを常時模索していく
- 衣服の製造過程を社員に理解させることで、売り場での取り扱いならびに、品質向上に対する意識改革を図る

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

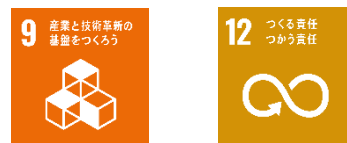


環境

<具体的な取組内容>

- 商品管理の徹底により、廃棄を極限まで抑え、店頭での紛失や棄損を発生させない店舗づくりを行う
- 使用しないハンガーなどを、必要とするお客様や地域の住民に無償提供し、リユースを活性化させることで、廃棄物削減に寄与する
- 商品の納品時に発生する梱包資材や備品を、取引先に返却することで再利用につなげてもらうように促し、社員全員でリデュース、リユースを心掛ける
- DXの推進を図り、FAXのペーパーレス化や資料のデータ化を効率的に行うことによって紙資源使用を削減する

<関連のあるゴール>



社会貢献・地域貢献

<具体的な取組内容>

- 自治会の防災活動に積極的に参加し、周辺住民とのコミュニケーションを図りながら、簡易テントや非常用トイレの使用方法などの体験学習を広く進め、地域の災害対応力強化に寄与していく
- 地域の美化活動を率先して実施することで、住みやすい街づくりにも貢献していく

<関連のあるゴール>



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。